

■第1回の議事録（概要）

日時：令和5年7月14日（金）14時～15時17分

場所：東別館2階 会議室

出席者：鶴野会長、山中委員、山下委員、稲田委員、馬渡委員、榎谷委員、中井委員、浅岡委員、
新朮委員、山内委員、隅田委員、大橋委員、松方委員、
事務局：障害福祉課3名、子育て支援課2名

次第：1 案件

- （1）委員の就任について
- （2）第6期摂津市障害福祉計画・第2期摂津市障害児福祉計画の令和4年度実績について
- （3）摂津市における障害福祉の現状について
- （4）次期摂津市障害福祉計画等について
 - ①障害福祉計画に係る国及び大阪府の方針について
 - ②アンケート調査について
- （5）その他

会議の経過

- 開会あいさつ
- 配布資料の確認

（鶴野会長）

・人事異動に伴い委員の交代があった。事務局より説明を。

- 事務局より委員の変更について説明
- 各委員自己紹介
- 事務局自己紹介

（鶴野会長）

・それでは、案件を進めたい。案件（2）について、事務局より説明を。

○事務局より第6期摂津市障害福祉計画・第2期摂津市障害児福祉計画の令和4年度実績について資料説明

(鶴野会長)

- ・ただいまの説明について質問があれば。

(委員)

- ・身体障害者の就労移行は、利用後どのような関係の就職先があるのか。

(事務局)

- ・就労移行支援は、長期的なものになる。生活リズムを整えたうえで、就職先としては障害者雇用を求められている会社や、場合によっては就労移行を利用したものの一般企業への就労が難しく、就労継続支援A型で仕事をされることもある。身体障害者だからという特徴的なところはなく、障害者枠での就職が多いと感じている。

(委員)

- ・医療的ケア児等コーディネーターがおられるとのことだが、どのような形で把握されているのか。どの程度の医療的ケア児が市内にいるのか、教えてほしい。

(事務局)

- ・人数としての報告は把握できていないが、相談支援事業所から最近そのような方が増えている感じがすると聞いている。

(委員)

- ・他の居宅介護等を受けておられる人も利用されているのか。

(事務局)

- ・医ケアができる支援事業所等を利用されている。

(委員)

- ・3ページの移動支援事業の障害児の見込みがあがっていないが、障害児は移動支援を受けていることが多かったように思う。

(事務局)

- ・一番大きいのは、コロナの利用控えだと思う。電車等の公共交通機関を利用するため、感染リスクを避けるために利用を控えるケースが多いと認識している。その傾向が表れた結果と

把握している。移動支援を利用せず、保護者が一緒に出かけるケースはあると思う。

(委員)

・例えば、それが通所系の放課後デイ等の利用に結びついているのか。

(事務局)

・放課後デイについては、傾向として特に発達系の利用希望が増えていることが表れているが、直接結びつかないのではないかと考えている。

(鶴野会長)

・案件(2)については、以上としたい。続いて、案件(3)について事務局から説明を。

○事務局より摂津市における障害福祉の現状について資料説明

(鶴野会長)

・ただいまの説明について質問等があれば。

(委員)

・虐待通報について、補足したい。今の説明は摂津市で受けた数だと思うが、家庭センターで受けた数はもっと多い。

(鶴野会長)

・グループホームの10名は埋まっているのか。

(事務局)

・他市で支給決定を受けている居住者もいるため、把握が難しく不明。

(委員)

・2ページの一番下の「せつつくすのき」は、定員が多くて20名でいっぱいとお聞きした。この希望者は、どのくらいいらっしゃるのか。希望者は全員入れる現状なのか。

(事務局)

・いろいろなコースがあり、合計すると20名になる。基本的に希望者は皆さん入っておられると思う。昨年度までは4月カリキュラムと10月カリキュラムにわかれていたが、昨年度から大阪府の委託事業の関係もあり、すべて4月カリキュラムに揃えた。その関係があるのか因果関係ははっきりしないが、20名の定員枠が埋まっている状況である。

(委員)

- ・「くすのき」は20名訓練を受けて20名就労しているのは、すごい成果だと思う。その理由がわかるのであれば知りたい。それと、それ以前の就労されていない方はどうなったのか。

(事務局)

- ・これまで積み上げてきた実績が大きい。就労できなかった方は、再チャレンジで翌年度就職活動をされていると聞いている。その結果については、把握できていない。

(鶴野会長)

- ・案件(3)については、以上としたい。続いて、案件(4)について事務局から説明を。

○事務局より次期摂津市障害福祉計画等について資料説明

(委員)

- ・資料5-2の設問が、とてもわかりにくい。前回のアンケートの時にも提案したが、その記録はあるのか。
- ・5ページにある居宅介護(ホームヘルプ)の書き方も、混乱してしまうのではないかと。保護者の年齢が高くなっている。例えば、まず「ある」「ない」を選択できるように、きっちりわかっていたほうがわかりやすい。市役所や相談支援を頼りにしているため、自分の子どもがどのサービスを受けているのか把握していない保護者も多い。
- ・説明を別紙で付けることはできないのか。
- ・団体の研修会等をしないと、わからないまま書いてしまったのではアンケートの意味がない。
- ・知的の人達の手帳について、聞くところはあるのか。

(事務局)

- ・問5で療育手帳の方に対して判定を聞いている。その他に療育手帳の方に向けた質問はないが、その他3手帳も含めての問で療育手帳の方にもお聞きする内容はある。
- ・知的に特化して回答いただく欄はないので、知的の方への設問がないように見えるかもしれないが、その他の書いていない部分に関しては、知的の方も含めて回答いただくことになる。

(委員)

- ・問16について分かりやすくするため、まず、「ある」「ない」を聞いてほしい。

(事務局)

- ・ 検討したい。

(委員)

- ・ 問 16 の福祉サービスについての項目が 3 つにわかれているのを選択するのが難しい。利用していても、どれにあてはまるのかわからない。

(鶴野会長)

- ・ 整理すると、サービスの種類で例えば生活介護なのか、居宅介護なのかの区別がわかるかどうか、ということか。

(委員)

- ・ 1～9 の中で判断しにくいところがあるかもしれない。年齢的にわかりにくい。

(事務局)

- ・ 問 16 は、ご指摘のとおり複雑であると認識している。サービス利用の不満点をお聞きする問になっている。問について、再度検討したい。

(鶴野会長)

- ・ 回収率の問題と、せっかく記入いただいたのにエラーになるようなことがないように。可能な限り検討いただきたい。

(委員)

- ・ 18 歳以上のみインターネット回答に限定しているのは、何か理由があるのか。

(事務局)

- ・ インターネット追加は決定事項ではなく、前向きに検討を進めている段階である。取り入れる場合は、児童も含めたい。

(委員)

- ・ それは、実施を考えているということか。

(事務局)

- ・ はい。

(委員)

- ・ ID は最初から割り振って送られるのか。

(事務局)

- ・ はい。

(委員)

- ・他に利用しないとか、個人を特定するものではない等の注意書きを ID にも記載したほうが良いのではないか。

(事務局)

- ・資料5-2の文章には記載してあるが、注意書き等を入れてより周知できるように対応したい。

(鶴野会長)

- ・QRコードによる回答は、継続検討中か。

(事務局)

- ・反対のご意見がなければ、この場でインターネットも含めた回答方式について決定したい。

(委員)

- ・あったほうが良いのではないか。

(委員)

- ・7ページにサービスの説明があるが、こういうのは別にしたほうがわかりやすいのではないかと。

(委員)

- ・両方作れば良いのではないかと。ここから省くと逆にわかりにくくなることもあるかもしれないので、参照資料を別紙で付けてはどうか。

(事務局)

- ・ご意見のように別紙で進めたい。

(鶴野会長)

- ・QRコードで読み取った画面は、100%紙と同じものか。

(事務局)

- ・インターネットでのサービスに関する回答については、別紙を見ながらになるかもしれない。

(鶴野会長)

- ・工夫が必要である。
- ・それでは、QRコードの活用も併用でということにしたい。

(委員)

- ・親御さんの困り感が大きいと思う。設問はすべてご本人視点で書かれていて、親御さんの困り感がわかりにくい。親御さんの日々の困りごとについて、どこかで拾ったほうが良いのではないか。

(事務局)

- ・基本的には親御さんに回答いただくことを想定している。最終ページの「気にかかっていること」で広く取ることは想定しており、これが十分かどうかはわからないが、何らかの形で聞く意思は持っている。
- ・使いにくい等は、福祉サービスの設問のその他欄に記入いただけたらと考えている。

(委員)

- ・11 ページは2つの設問しかないが、もう少し増やしてはどうか。機関に相談できる人は少ない。相談する人がいるかいないか、くらいの初歩的などろを含めて保護者に対する設問があると、もう少し親の実態が浮き彫りになるのではないか。もう少し丁寧に親の悩みがわかるような設問の設定をしたほうが良い。

(委員)

- ・自由記述のような項目も付ければ。

(委員)

- ・自由記述を設けると、またいろいろ出てくるかもしれない。

(委員)

- ・各設問にその欄を設けてはどうか。

(鶴野会長)

- ・例えば問30でも「ご本人のことでご家族が気にかかっている」とあるが、親自身の困りごとがくみ取りにくいということだと思う。そのあたりで何か追加することも含めて検討できないか。

(事務局)

- ・検討したい。

(鶴野会長)

- ・実態が明確になるような方向で検討願いたい。
- ・それでは、案件(4)については終了する。案件(5)について事務局から何かあるか。

○事務局よりその他案件、スケジュールについて案内

(事務局)

- ・アンケートについていただいたご意見を調整し、再度ここでお諮りする時間を取ることは厳しいため、事務局と会長で相談のうえ、最終は一任いただくことでよろしいか。

○委員一同異議なし

(鶴野会長)

- ・それでは、予定していた案件は以上となる。これをもって会議は終了する。

(以上)